

2022 年度江戸川大学教職課程の自己点検・評価・公表について

2022 年度教職課程センター 高橋克

2021 年 5 月に教育職員免法施行規則が改正され、第 22 条の 7、8 で、「複数の教職課程を設置する大学は、教職課程の円滑かつ効果的な実施により教員の養成の目標を達成するため、大学内の組織間の連携による適切な体制を整備するものとする。また、教職課程を設置する全ての大学は、教職課程を実施するためのカリキュラムや教員組織、施設及び設備の状況等について自ら点検・評価を行い公表するものとする。」とされ、令和四年四月一日から施行されたことを受けて、本学教職課程センターではワーキンググループ（波多野和彦教授・村上涼准教授・高根沢紀子准教授・蛭原正貴講師）を立ち上げ対応することとした。

座長は波多野教授で、全学を対象とする「学修行動調査」のうち、今年度後期実施分の教職課程履修者の回答データに基づき、分析をおこない、教職課程運営委員会の検討を経て以下の通り公開に至った。

方法としての改善の余地や分析の深度にご意見ご指導をいただければ幸甚である。

はじめに

中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会教職課程の基準に関するワーキンググループによる「複数の学科間・大学間の共同による教職課程の実施体制について（報告書）」（令和 2 年 2 月 18 日）を受け、全学的な体勢の整備及び自己点検評価の仕組みの導入のために、教育職員免許法施行規則等の一部（第 22 条の 7、第 22 条の 8）が改正され、文部科学省令第 25 号（令和 3 年）が交布、施行された。

本学では、教職課程にかかわる自己点検評価を検討するために、ワーキングチームを構成するとともに、活動初年度となる 2022 年度は（文部科学省による全国学生調査に基づき）毎年度実施している全学を対象とする「学修行動調査」のうち、今年度後期実施分の回答データに基づき、教職課程履修希望者の特徴を検討し、検討すべき項目を探ることから始めることとした。

処理の手順

まず、ワーキングチームによる作業の趣旨、回答データの処理の概要を全学 IR 委員会に諮った。そして、回答データから、学籍番号のうち（入学年度、及び、所属学科を表す上 3 桁を残し）個人番号を表わす下 3 桁をマスクすることで、個人を特定できない形に加工した上で、教職履修者か否かに分類したデータの提供を受けた。

次に、提供を受けたデータから、学部ごと（社会学部、メディアコミュニケーション学部）に設問が異なる部分（各学部の一部、及び、各学科のディプロマポリシーにかかわる項目）を除外し、両学部のデータを統合した（統合後の設問は、表 2 を参照のこと）。

度数分布による比較検討

教職履修者、並びに、それ以外の学生が回答したデータのそれぞれについて、設問ごとに、回答数を集計するとともに、中央値を算出した。

さらに、教職履修者数（n=68）に対し、それ以外のサンプル数（n=1737）が多いことを踏まえ、それぞれの回答者数をパーセント表記にした上で、中央値のある階級部分に太枠を施した（表1参照）。

その上で、教職履修者とそれ以外のデータの分布の違いを検討するために、それぞれの表の中央値のある枠（階級）が異なっている場合、教職履修者側の表の中央値の枠部分に網掛けを施した。

該当した設問は、

設問 A02 授業期間中、1日平均してあなたが大学にいる時間を教えてください。

設問 A05 日によって消灯時刻はどのくらい変わりますか。

設問 A07 今学期にどのくらい科目を履修していますか（※集中講義を除く科目数を記載）。

設問 A31 ・キャリアに関する科目、キャリアカウンセリング（就職や進学相談）の経験

設問 A34 ・図書館やアクティブラーニングスペースを活用した学習の経験

設問 A35 ・授業（実験・実習含む）への出席

設問 A38 ・部活動/サークル活動をした時間数

設問 A39 ・アルバイト/定職をした時間数

の8項目であった。

分布のうち、中央値の位置に基づき、検討すると

1) 設問 A02 授業期間中、1日平均してあなたが大学にいる時間を教えてください。

（8時間以上;6～8時間未満;4～6時間未満;2～4時間未満;2時間未満）

教職履修者の方が、大学の滞在時間は短めである。

例えば、運動部所属の学生が、部活動の時間を大学の滞在時間と考えるか否か、あるいは、教職に関連する塾や家庭教師などのアルバイトに従事している可能性、教育実習や介護等体験にかかわる時間、教育ボランティアなどに従事している可能性など、個別事情をより詳しく勘案する必要がある。

2) 設問 A05 日によって消灯時刻はどのくらい変わりますか。

（±10分以内;±30分以内;±1時間以内;±1時間半以内;±2時間以内;±3時間以内;
±4時間以内;±6時間以内;±6時間以上）

教職履修者の方が、消灯時刻の変化が大きい。

教職課程における典型的な課題である「具体的な授業計画の作成（授業設計）」は、担当科目の専門知識を確認しつつ、具体的な学習者を想定し、授業の流れを検討したり、教材を工夫したりする必要があり、授業設計に慣れない（教育実習前の）学生には、作業負荷が大きい。そのため、模擬授業などを担当するか否かによる違いが影響していると考えられる。

3) 設問 A07 今学期にどのくらい科目を履修していますか（※集中講義を除く科目数を記載）。

（1科目;2科目;3科目;4科目;5科目;6科目;7科目;8科目;9科目;10科目;11科目;12科目;
13科目以上）

教職履修者の方が、履修科目数が少ない。

教職課程の科目は、履修にかかわるキャップ制の関係上、集中講義扱いとなっている場合が多い。その影響が考えられる。

4) 設問 A31 大学に入ってから次のような経験はありましたか。また、その経験は有用でしたか。

・キャリアに関する科目、キャリアカウンセリング（就職や進学相談）の経験

(非常に有用だった;有用だった;有用ではなかった;経験していない)

教職履修者の方が、キャリア関連の科目やカウンセリングの有用性を感じている。

卒業後に活かせる資格取得にかかわる科目であること、入学当初から教員採用試験にかかわる学びを意識する必要があること、教職課程履修のためには通常の学費に加えて、毎年度教職課程履修費を支払う必要があること、教育実習や介護等体験など、社会での実務とのかかわりが大きいことなどが影響していると考えられる。

5) 設問 A34 大学に入ってから次のような経験はありましたか。また、その経験は有用でしたか。

・図書館やアクティブラーニングスペースを活用した学習の経験

(非常に有用だった;有用だった;有用ではなかった;経験していない)

教職課程履修者の方が、図書館やアクティブラーニングスペースの学習経験の有用性が低い。

教職課程履修者は、A棟4階の教職セミナー室に備えられた(免許取得教科科目にかかわる)中学・高等学校の教科書を活用したり、備えられている黒板やホワイトボードを利用し、授業実施の練習を行ったりなど、仲間との学び合いが日常化しており、図書館やアクティブラーニングスペースを利用する機会は少ないと考えられる。

6) 設問 A35 授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間について、当てはまる時間数を選択してください。

・授業(実験・実習含む)への出席

(0時間;1-5時間;6-10時間;11-15時間;16-20時間;21-30時間;31時間以上)

教職課程履修者は、授業への出席時間が少ない。

設問 A02 と同様、部活動や学外実習や教育ボランティアなどの要因が考えられる他、所属学科での学びに加え、教職の資格取得にかかわる科目を受講する必要があることから、学科専門などの履修を減らしている可能性も考えられる。さらに、教職関連の場合、授業への参画をより多く求められることが考えられることから、設問 A07 の結果にも見てとれるように、履修する科目数を減らし、出席率の効率化を考えている可能性もある。この点は、個別事情をより詳しく勘案する必要がある。

7) 設問 A38 授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間について、当てはまる時間数を選択してください。

・部活動/サークル活動をした時間数

(0時間;1-5時間;6-10時間;11-15時間;16-20時間;21-30時間;31時間以上)

教職履修者は、部活動などの時間数が少ない。

設問 A05 などにも記載した通り、授業課題、教育実習や教育ボランティアなどに取り組む割合が大きいことが考えられる。

8) 設問 A39 授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間について、当てはまる時間数を選択してください。

・アルバイト/定職をした時間数

(0時間;1-5時間;6-10時間;11-15時間;16-20時間;21-30時間;31時間以上)

教職履修者は、アルバイトなどの時間数が少ない。

上記の設問 A38 と同様であると考えられる。

今後に向けて

教職履修者については、それ以外の学生と行動パターンなどが大きく異なることと考えられる。実際、学内や学科内における学びの成果の比較より、都道府県や市区町村などの公立学校教員や私立学校の教員採用、教育実習などを想定すると（学内にとどまらず）全国の教員養成大学学部における学びの成果が比較対象となることは明らかである。

その点から、今後、大学授業の評価改善にかかわる活動なども、全学にとどまらず、他の教職課程の活動なども視野に入れた仕掛けが必要であろう。

今回は、学修行動調査データの検討の一部にとどまったが、今後、さらなる検討を続けるとともに、教職にかかわる専任教員、非常勤教員に対する調査、並びに、意見交換なども含め、継続的な活動が重要である。

表 1－1 度数分布と中央値（統合した設問 01～15）

教職 n= 68		設問の番号														
%		A01	A02	A03	A04	A05	A06	A07	A08	A09	A10	A11	A12	A13	A14	A15
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
学 生 が 回 答 し た 番 号	1	1.5	4.4	0.0	2.9		4.4	41.2		2.9	2.9	4.4	2.9	10.3		11.8
	2	0.0	16.2	2.9	0.0	1.5	5.9	22.2	1.5	4.4	2.9	7.4	5.9	61.8	33.8	29.4
	3	41.2	23.5	8.8	23.5	1.5	13.2	8.8	2.9	58.8	54.4	48.5	51.5	14.7	35.3	41.2
	4	57.4	23.5	33.8	29.4	7.4	30.9	7.4	13.2	33.8	39.7	39.7	39.7	7.4	25.0	13.2
	5		20.6	41.2	33.8	20.6	45.6	7.4	82.4					5.9	5.9	4.4
	6			8.8	5.9	10.3		4.4								
	7			2.9	4.4	10.3		0.0								
	8			0.0		13.2		2.9								
	9			0.0		10.3		1.5								
	10			1.5				0.0								
	11							2.9								
	12							1.5								
	13															

教職以外 n= 1737		設問の番号														
%		A01	A02	A03	A04	A05	A06	A07	A08	A09	A10	A11	A12	A13	A14	A15
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
学 生 が 回 答 し た 番 号	1	1.8	10.4	1.2	5.9	1.7	1.6	14.0	0.2	2.5	2.5	2.9	2.9	14.1	2.5	6.4
	2	0.6	25.7	3.9	10.1	0.9	7.8	21.1	0.5	6.2	5.3	8.9	8.6	61.1	32.4	41.9
	3	20.0	42.4	15.0	21.2	3.9	18.5	16.6	2.2	58.5	56.5	50.5	52.5	13.8	36.8	35.9
	4	77.6	17.2	26.4	24.1	10.2	43.5	10.0	21.6	32.8	35.7	37.7	36.0	7.2	20.1	12.0
	5		4.3	35.7	25.4	21.4	28.6	5.5	75.6					3.8	8.2	3.7
	6			11.9	9.2	14.7		5.6								
	7			3.9	2.4	29.9		4.6								
	8			1.2	1.1	12.6		5.9								
	9			0.2	0.3	4.7		3.5								
	10			0.8	0.4			1.5								
	11							1.6								
	12							2.6								
	13							7.4								

表 1-2 度数分布と中央値（統合した設問 16～30）

[illegible][illegible]

表 1－3 度数分布と中央値（統合した設問 31～45）

教職 n= 68		設問の番号															
		%	A31	A32	A33	A34	A35	A36	A37	A38	A39	A40	A41	A42	A43	A44	A45
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答した番号	1	45.6	86.8	89.7	47.1	5.9	0.0	0.0	7.4	13.2	1.5	13.2	10.3	1.5	0.0	8.8	
	2		2.9	4.4	2.9	13.2	2.9	0.0	10.3	7.4	0.0	5.9	57.4	26.5	48.5	66.2	
	3	27.9	5.9	1.5		29.4	2.9	4.4	5.9	11.8	0.0	10.3	17.6	51.5	27.9	16.2	
	4	20.6	4.4	4.4	17.6		4.4	1.5	11.8	16.2	4.4	8.8	10.3	17.6	14.7	4.4	
	5					22.1	13.2	8.8	8.8		2.9	23.5	4.4	2.9	8.8	4.4	
	6					16.2	69.1	61.8		4.4	8.8	36.8					
	7					1.5	7.4	23.5	41.2	30.9	82.4	1.5					

教職以外 n= 1737		設問の番号															
		%	A31	A32	A33	A34	A35	A36	A37	A38	A39	A40	A41	A42	A43	A44	A45
計		100.0		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答した番号	1	34.7	85.0	92.7	40.2	3.9	0.3	0.3	1.4	10.2	1.4	16.9	12.3	2.7	3.7	7.3	
	2	5.6	1.7	1.2	4.6	10.5	0.3	0.2	1.1	8.1	0.7	6.3	44.7	26.1	45.8	58.5	
	3	37.5	6.9	3.0	37.7	16.9	1.6	1.0	1.3	16.8	0.9	11.3	25.0	44.7	26.5	18.9	
	4	22.2	6.4	3.1	17.6	16.2	3.4	2.2	3.1	22.9	2.3	14.5	14.1	20.0	16.2	9.8	
	5					20.7	12.9	7.2	3.5	16.5	7.3	25.4	4.0	6.4	7.7	5.5	
	6					29.7	70.4	60.4	12.0	10.8	20.3	24.0					
	7					2.1	11.2	28.7	77.5	14.8	67.0	1.5					

表 1-4 度数分布と中央値（統合した設問 46～57）

[illegible][illegible]

表2 学修行動調査の調査項目（統合後）

基本属性について

- 1 あなたの居住形態はどのようなものですか。
- 2 授業期間中、1日平均してあなたが大学にいる時間を教えてください。
- 3 授業のある日の前の日、寝床（ベッド・ふとん）に入って眠ろうとする（消灯）時刻は何時ごろですか。
- 4 授業のない日の前の日、寝床（ベッド・ふとん）に入って眠ろうとする（消灯）時刻は何時ごろですか。
- 5 日によって消灯時刻はどのくらい変わりますか。
- 6 片道の通学時間は何分程度ですか。

大学での学修について

- 7 あなたは今学期にどのくらい科目を履修していますか（※集中講義を除く科目数を記載してください）。
- 8 履修登録した科目において、授業平均出席率はどのくらいですか。
今学期、各学部学科のディプロマポリシーの力はどのくらい身に付きましたか
- 9 知識と体験を基に、批判的かつ洞察的に思考し判断する力。
- 10 教養としての基礎知識及び先行する学問分野における基礎的・専門的知識。
- 11 自己の意見を適切に表現し、他者に配慮しながら積極的にコミュニケーションする力。
- 12 コンピュータや情報環境を様々な活動に活用する力。
あなたのこれまでの成績についてたずねます。（1年生など、まだ成績のない人は回答不要です）
- 13 成績全体の中で「秀」がどのくらいあったかを教えてください。
- 14 成績全体の中で「優」がどのくらいあったかを教えてください。
- 15 成績全体の中で「良」がどのくらいあったかを教えてください。
- 16 成績全体の中で「可」がどのくらいあったかを教えてください。
- 17 成績全体の中で「不可」や「欠」がどのくらいあったかを教えてください。
- 18 あなたがいままで履修した授業の中で、満足するものはどれくらいありますか。
- 19 あなたが授業を選ぶ際に最も重要だと思う要素は何ですか。
- 20 大学での授業や研究は、将来自分の進路先で何らかの役に立つと思いますか。

学生から見た大学の教育の姿について

- 21 これまでに受けた授業では、次の項目はどれくらいありましたか。
・授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれた。
- 22 ・理解がしやすいように教え方が工夫されていた。
- 23 ・教員以外の者（アシスタントなど）が配置されており、補助的な指導があった。
- 24 ・小テストやレポートなどの課題が出された。
- 25 ・適切なコメントが付されて課題などの提出物が返却された。
- 26 ・グループワークやディスカッションの機会があった。
- 27 ・教員から意見を求められたり、質疑応答の機会があった。

大学に入ってから次のような経験はありましたか。また、その経験は有用でしたか。

- 28 ・大学での勉強の方法（スタディ・スキル）を学ぶ科目
- 29 ・研究室やゼミでの少人数教育の受講経験
- 30 ・（授業以外で）教員に質問したり、勉強の仕方を相談する機会
- 31 ・キャリアに関する科目、キャリアアカウンセリング（就職や進学相談）の経験
- 32 ・インターンシップ（5日以上のもの）の経験
- 33 ・海外留学（3ヶ月以上のもの）の経験
- 34 ・図書館やアクティブラーニングスペースを活用した学習の経験

授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間について、当てはまる時間数を選択してください。

- 35 ・授業（実験・実習含む）への出席
- 36 ・予習・復習・課題など授業に関する学習
- 37 ・授業以外の学習
- 38 ・部活動/サークル活動をした時間数
- 39 ・アルバイト/定職をした時間数
- 40 ・就職活動をした時間数
- 41 ・趣味/娯楽/交友をした時間数

これまでに受けた授業の形態についてお答えください。

- 42 ・講義形式（教員の講義を聞く）のうち、100人以上の大規模なものはどのくらいありましたか。
- 43 ・講義形式（教員の講義を聞く）のうち、50人以上100人未満の中規模なものはどのくらいありましたか。
- 44 ・講義形式（教員の講義を聞く）のうち、50人未満の小規模なものはどのくらいありましたか。
- 45 ・演習形式（発表や課題作成など学生が取り組むもの）やゼミはどのくらいありましたか。
- 46 ・実習形式（実験や学外実習など）はどのくらいありましたか。

次の知識や能力を身に付けるために、大学教育は役に立っていると思いますか。

- 47 ・専門分野に関する知識・理解
- 48 ・将来の仕事に関連しうる知識・技能
- 49 ・文献・資料・データを収集分析する力
- 50 ・論理的に文章を書く力
- 51 ・人に分かりやすく話す力
- 52 ・外国語の力
- 53 ・統計数理の知識・技能
- 54 ・問題を見つけ、解決方法を考える力
- 55 ・多様な人々と協働する力
- 56 ・幅広い知識、ものの見方
- 57 ・異なる文化に関する知識・理解

自身の取り組みについて

最後に、自分の将来に向けて、今学期、力を入れて頑張ったこと（今学期のガクチカ）を自由に記述してください。

思い浮かばない場合「なし」と記載してください。